

5章2節8 世界史 B ②「第一次世界大戦の勃発」

坂田匡史

教科：[地理歴史] / 科目名：[世界史 B] / [2] 学年対象・[3] 単位	
出題する考査	[2] 学期 [期末] 考査
該当する单元等	2つの世界大戦
出題意図 (レベル)	問1 バルカン戦争の経緯や結果に関して理解している。(I) 問2 転換点となった出来事と、その前後の変化を理解し、表現できる。(C) 問3 歴史的事象の評価と蓋然性について、自分の考えを論じることができる。(E)
【I】問1	2度のバルカン戦争に関して述べた次のア～エの文章のうち、正しいものを1つ選びなさい。 ア ギリシア・セルビア・ブルガリア・ルーマニアがバルカン同盟を結成した。 イ 第1次バルカン戦争では、オスマン帝国が敗北した。 ウ 第2次バルカン戦争では、ブルガリアが勝利した。 エ 2度のバルカン戦争の結果、セルビアの領土は縮小した。
【C】問2	第一次世界大戦に至る列強間の国際関係は、20世紀にはいつてどのように変化したか。次の条件を満たすように180字以上200字以内で論じなさい。 〔条件〕1 列強の国際関係が二極分化となっていく転換点となった歴史的事象をあげること。 2 以下の指定語句の語群から4つ以上使用すること。 世界政策 英露協商 日英同盟 建艦競争 モロッコ バルカン 三国同盟
【E】問3	サライエヴォ事件は、第一次世界大戦の勃発にどの程度作用したか、次の4つの観点より1つ選び、歴史的事象を根拠に示しつつ論じなさい。 ア 大いに作用した。 イ ある程度作用した。 ウ 多少作用した。 エ あまり作用していない。
採点基準 (配点)	問1 (2点) : 2度のバルカン戦争について、経緯や結果を理解している。 問2 (4点) : 日露戦争を明示し、その前後の変化を条件にあうように記述している。 問3 (4点) : 歴史的事象を根拠にあげつつ、自分の考えを記述している。
備考	※必修での世界史Bの学習が進んできており、生徒自身でいかに歴史的事実を根拠として、立論できるか。学習した歴史像から検証・分析した歴史的事実を使って、自らの観点や尺度をもって歴史像を描くこと(再構築化)を身につけるため。